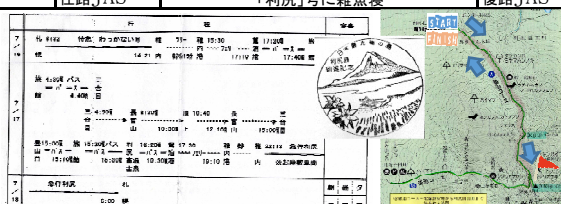


山番号	山名	利尻岳、利尻富士	登頂順	標高M	
1	利尻山		35/100	1,719	
登頂年月日		山頂天候	年齢	山中宿泊小屋	
1997.7.17			51	(7/16利尻島旅館「田中屋」前泊)	
平成9年					
メンバー		主催	北海道旅客鉄道 マウンティングクラブ		
単独	複数	ガイド	ツアー	7/15札幌国際ホテル	
				7/17お座敷列車「利尻」 雑魚寝で札幌、小樽経由、 後方羊蹄山に向かう。 7/18、19ペンション「 グランババ」2泊	
人数		リーダー 宮崎氏(トムラウシ)			
同時登頂百名山		別々登頂 縦走登頂	7/19の後方羊蹄山へ		
窓打つ波、揺れたフェリー、雨の百名山最北端の独立峰。					
コース タイム	4:30「田中屋」⇒4:50駕泊コース登山口⇒10:15				
	頂上⇒14:20登山口 ＜歩程9:50 12km 標高差1,500M＞				
交通手段		往路JAS	現地: JR、帰路はお座敷列車 「利尻」号に雑魚寝	復路JAS	
					
フェリーは立っていられないほど激しく揺れて、広い客室の床をピンやカンが子犬の運動会の様に前後左右転げまわっていた。旅館の夕食に出された殻付きのウニが新鮮で旨かった。翌朝は雨中を黙々登山、頂上は雲の中だった。帰りの船上から初めて島の姿が望めた。また来て今度は山頂からの景色を見たい山だ。夜行の「お座敷列車」は硬い床に毛布1枚、それでも横になって眠れた。					

山番号	山名	(別名)チャチャヌプリ	登頂順	標高M
2	羅臼岳		58/100	1,661
登頂年月日		山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2002.7.6			56	(7/6「ホテル地の涯」 12年前家族で宿泊)
平成14年				
メンバー		主催	北海道旅客鉄道 ウンテングクラブ	
単独	複数	ガイド	ツアー	7/7札幌 ホテル「 クラブイー」札幌 ホ テル「クレスト」7/9 帰社
			13	広岡氏、室本氏
北の最果て知床半島の最高峰				
コース タイム	8:30登山口⇒14:12～25頂上⇒18:00登山口 ＜歩程9:30 11.6km 標高差1,431M＞			
交通手段	往路JAS	現地: 7/5JAS夜行列車「オホーツク9号」 7/7「オホーツク」		復路JAS
				
いつもながらだが、狭くて寝辛い夜行列車は敬遠したい。登山口からは雨が降ったり止んだりだ。さすが北海道、7月なのに標高が低くても残っている雪渓を渡った。羅臼平では餌を貰いに来たのか休憩中にキタキツネを見かけた。山頂は曇りで期待した独立峰からの景色は観られなかった。「ホテル地の涯」は家族で来て以来の12年振り。懐かしい広い露天風呂が待っていた。				

山番号		山名 (別名) オンネヌプリ		登頂順	標高M
3		斜里岳		65/100	1,547
登頂年月日		山頂天候	年齢	山中宿泊小屋	
2002.9.1			56		
平成14年					
メンバー		主催	北海道旅客鉄道 ウンテングクラブ		
単独	複数	ガイド	ツアー	人数	マ
				リーダー	8/30レンタカーで支笏湖・札幌R&B泊。 8/31オホーツク③号で小清水ふれあいセンター泊 9/1下山後バスで網走簡保養センター泊
宮崎氏(トムラウシ) 広岡氏(ラウス岳)					
同時登頂百名山		別々登頂 縦走登頂	9/4の雌阿寒岳へ		
道東の優美な名峰					
コースタイム		6:45登山口⇒9:50～10:20頂上⇒14:00登山口 ＜歩程8:15 7.1km 標高差877M＞			
交通手段		往路JAS	現地: JR、レンタカー		復路JAS
退職直前、残った有給休暇を使っ てのサラリーマン卒業登山。斜里岳頂上はガスで雄阿寒岳は見えなかった。下山して美幌で解散しJRで網走へ、網走簡保養センターに投泊。9/2レンタカーでオホーツク流氷館等を見学してオンネトー㊦「景福」泊。この風呂は子供には不向きだがめずらしい。胸まで深い露天風呂の玉石敷きの底から湯が湧き上がる。この後8/4の雌阿寒岳登山に向かう。					
					

山番号	山名	(別名)ホンマチネシリ	登頂順	標高M
4	雌阿寒岳		66/100	1,499
登頂年月日		山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2002.9.4			56	
平成14年				
メンバー		斜里岳の続き 9/2レンタカーで網走「オホーツク流水館」⇒オンネト―❧「景福」泊 9/3釧路湿原ドライブ、オンネト―❧「滝の湯」泊。		
単独	複数	ガイド	ツアー	9/4下山後釧路までドライブ。(合計580キロ走行) フィッシャーマンズワーフでジンギスカン⇒JASで帰阪
同時登頂百名山		別々登頂 縦走登頂	9/1の斜里岳より	
阿寒岳の最高峰は火山の雌阿寒岳				
コース タイム	4:30登山口⇒7:10頂上⇒9:45登山口 ＜歩程4:35 5.2km 標高差789M＞			
交通手段	往路JAS	現地.:バス、レンタカー		復路JAS
久々の好天登山、頂上に一番乗り。荒々しい火口の数か所から盛んに蒸気を噴出している。直後東京の団体40名が到着し静寂が破られた。皆で景色に歓声を挙げていた。やはりそこが一人登山とは違う喜びの共有シーンだ。晴れたのでパノラマプリントが役立った。雄阿寒岳や阿寒湖は勿論斜里、羅臼、大雪が同定できた。雌阿寒岳から釧路までレンタカーで走った。4日間全行程は 580kmに登った。これでサラリーマン卒業登山のNo.3が完結した。 				

山番号	山名	(別名)	登頂順	標高M
5	大雪山	(旭岳)	13/100	2,290
登頂年月日		山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
1994.7.23			48	(7/22上川町 「京屋旅館」)
平成6年				
メンバー		7/21札幌入り、 7/22上川町	ロープウェイとリフトを使 って黒岳の7合目まで上 がるとまだ雪が残ってい た。	
単 独	複 数	ガイ ド		
			北海道の最高地点	
コース上の主な山		黒岳、北鎮岳、間宮岳⇒旭岳		
コース タイム	8:10リフト終点⇒9:28黒岳頂上⇒14:00旭岳⇒15:30 姿見 <歩程7:20 10.05km 累積標高差1700M>			
交通手段	往路ANA	現地.:JR、ロープウェイ、 リフト、バス、		復路ANA
				
前回往復				
前泊の旅館で女将に風呂の石鹸を借りたら「済んだら投げといて」と言われた。が、これは方言だった。うっかり窓から美しい白樺の裏庭に投げ捨てるところだった。昨年の旭岳温泉側からは強風で姿見池で引き返した。今回は逆ルートからのリベンジだ。「神々の遊ぶ庭」は終始展望が開けて楽しい稜線歩きだった。間宮岳で食べた女将が作ってくれた丸くて平たいおむすびが旨かった。朝日岳山頂に着くとガスで期待した展望が見られなかった。				

山番号	山名	(別名)トムラウシ山	登頂順	標高M
6	トムラウシ		48/100	2,141
登頂年月日		山頂天候	年齢	山中宿泊小屋
2001.7.21			55	7/21「東大雪荘」
平成13年				
メンバー		主催	北海道旅客鉄道 マウンテングクラブ	
単独	複数	ガイド	ツアー	7/20夜行 「まりも」
				7/22札幌第3ワシントン 7/23府中⇒筑波泊 7/24筑波
		人数	リーダー	
		15	宮崎氏(利尻も同行)、 宮高氏	
大雪南部の高山植物の宝庫				
コース タイム	4:55登山口⇒11:50頂上12:20⇒17:45登山口 ＜歩程12:20 18km 標高差1,176M＞			
交通手段		往路 JAS	7/22JR「スーパーあおぞら」で札幌へ	往路 JAS, JR
18km、12時間20分のロングトレイル。山頂はガスで眺望は断念。気の緩みか、夜行の睡眠不足と膝痛でぬかるみの登山道から右斜面に3M転落したが藪に救われた。水分2リットル補給のしんどい登山だった。この8年後の7月、トムラウシでは悪天候でガイドを含む8名が低体温症で死亡する事故が有り、これを契機にツアー登山の安全対策が強化された。反面保障力に乏しい個人ガイドの個性的な活動が困難となった。多くはツアー会社との契約下での活動にシフトして行った。残念だが登山ブームへの警鐘となった。				
				
